

「おでかけチェック箱の導入」

趣旨や背景

留守中の火災や盗難事件が相変わらず多い。高齢者世帯が多くなるとますます増えるのは目に見えている。要は出かける際の再確認がきちんと行なわれれば良いのである。日頃行なっていること、行なおうとしていることを機械が行なってくれ、人間はそれをチェックするだけで済めばこんなに良いことはない。

内容

- ① 玄関の脇に「お出かけチェック箱」を設置するのである。
- ② 電機メーカーにお願いして開発してもらい、探知機能により、不十分だとブザーが鳴ったり、ランプが点滅したりするしくみにするのである。
- ③ 対象は、水道、電気、ガスの消し忘れや、窓や扉の鍵などである。
- ④ ガスや電気などの漏れなどはセンサーで、水道はメーターで分かる仕組みになっているので、それらを総合的にもうひと工夫加えてもらうことによって実現可能性が増す。

メリット

- ① 火災や盗難事故が減る。
- ② 資源の浪費が少なくなると同時に無駄な出費も減る。
- ③ 安全安心まちづくりに資する。